

だれもが笑顔でいられる、住みやすい街に

地域の福祉活動を

コープぎふが応援します！

福祉活動助成基金とは？

コープぎふの組合員が参加する、岐阜県内での非営利的な福祉活動を資金面で応援するための基金です。

この基金はコープぎふからの拠出金と組合員から寄せられた福祉募金から成っており、2006年の制度開始以来、これまでに240団体に45,742,609円の助成を行ってきました。

第20期(2025年度分)福祉活動助成金 助成団体

住 所	団体・グループ名	申請事業内容
高山市	一般社団法人 てとら	「支援事業所てとら」新規事業所に伴う特殊浴槽設置事業
大垣市	大垣点訳グループ 愛盲会	盲学校に寄贈するための立体造形絵本の点字の打ち込みに使用するタイプライターの購入
大垣市	産前産後ケア あっぶる	産前産後の女性が、心と身体を健康にするための講座やイベント等の開催事業
本巣市	岐阜心理リハビリテーション部会親の会	障がい児・者に対し、心理リハビリテーションによる集中訓練の実施
養老郡	子育てシェアCOCO	岐阜県在住の、主に乳幼児を子育て中のご家庭を対象とした、乳幼児虐待防止に関する啓発イベントの開催事業
本巣市	岐阜県失語症友の会	失語症者の意識と生活をより良い方向に導くための大会「失語症全国大会 in ぎふ」の開催事業
岐阜市	岐阜県医療的ケア児者の会 ギフアイライン	医療的ケア児者をもつ家族同士での交流や、講演会の開催事業



基金への声

- 社会貢献や奉仕に関心があっても、財源がなければ活動の継続性、安定性は図れません。応援してくれる団体があることは励みにもなります。これからも続けてほしいです。(大垣市 ももちゃんさん)
- 以前携わっていた団体が助成をいただいたことがあります。想いがあっても資金面で心もとないからと踏み出せないものを助成という制度で後押ししてもらえたのは大変ありがたく、そこからまた活動が広がるという好循環も期待できます。今後も続けてもらえると良いです。(岐阜市 ずんだとキウイさん)
- 地域での福祉活動はとても良いと思います。自分も、ボランティア等よく参加していたので、福祉施設の利用者さんが作られた商品などを積極的に購入して活動を応援しています。(羽島市 ぶんちゃんさん)



第21期(2026年度分)福祉活動助成金申請募集のご案内

申請受付期間：2025年11/3(月)～11/21(金)※必着

《助成対象事業》

- ①高齢者、障がいのある方、幼児・児童、その他住民の生活を支援する活動、施設作り。
- ②住みやすい社会づくりという目的に沿う「調査研究活動」「交流会、研究会」「シンポジウム」等の開催およびそのために必要な事業。



《助成金申請説明会 日程》※事前申し込みが必要です。

日にち	時間	会場名
10/9(木)	①11:00	各務原支所 (オンライン含む)
	②14:00	
10/10(金)	11:00	西濃支所
10/14(火)	11:00	多治見支所
10/15(水)	11:00	岐阜南支所
10/17(金)	①11:00	オンライン
	②14:00	

「地域のために頑張っている人・団体を応援したい!」そんな思いからコープぎふでは『福祉活動助成基金』の助成先を決定するための選考会を毎年行っています。これまでに助成をさせていただいた皆さんからは、「作業がしやすくなり仕事が増えた」「利用者の生活に楽しみができた」「思いが同じ人と交流する機会ができた」など嬉しい声がたくさん寄せられています。しかし残念ながらこの制度はあまり周知されていません。自称“日本で一番優しい選考委員会”。こんなことできるかな?と思われたいらぜひ応募ください。また必要な方にこの制度のことが伝わりますよう、周りの方にもお知らせいただければ幸いです。引き続き募金へのご協力もお願いいたします。

募金について詳しくはこちらから



▲2025年度選考委員会委員長の堀部智子さん

第20期助成団体 一般社団法人てとら

管理者の川上雅子さんにお話を伺いました!



「一般社団法人てとら」は高山市にある障がい児者の日中支援多機能型事業所として、生活介護、就労継続支援B型、放課後等デイサービスを展開し、毎日45人前後の利用者を受け入れています。仲間とのびのび過ごせる環境の中で、一人ひとりの長所を伸ばしながら自立と社会参加のお手伝いをしています。

福祉活動助成金申請のきっかけは？

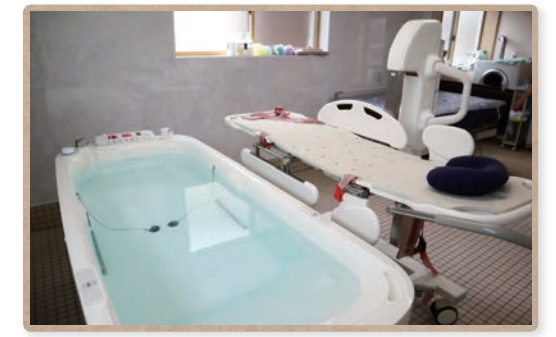
入浴介助を、利用者とコミュニケーションを取りながらゆっくり楽しむ時間にしたという思いから、特殊浴槽を施設に設置したいと思っていました。今までは座位での特殊浴槽だったので、姿勢を保つことが難しい利用者さんには腰にビーズクッションを置く工夫が必要だったり、介助する職員も前かがみの姿勢が続く、身体への負担も大きかったので、今回申請しました。

助成が決まったときの気持ちを教えてください。

本当にもうみんなでガッツポーズをして『やったー!』という気持ちでした。車椅子ユーザーの中には特殊浴槽でしか湯船に入れない利用者さんもいます。ご家族のご家庭での入浴介助はもちろん、施設での入浴支援にも今までのやり方では限界がありました。なにより設置前提で計画を進めていたので、決まったことで準備が一気に加速しました。

設置後の皆さんの反応を教えてください。

利用者本人が安心して楽な姿勢で入浴できることが何よりも嬉しいです。表情を見れば『あ、気持ちいいんだな〜』とすぐに分かります。ご家族の方にも実際にその様子を見ていただき、安心していただきました。この浴槽は横になった姿勢のままでも入浴できるため、より安全で快適な入浴支援が可能になりました。



▲横になった姿勢のまま入浴が可能な浴槽



管理者の川上雅子さん(右)と利用者さん(左) ▶

「一般社団法人てとら」では、小学校1年生から高校3年生までのお子さんを対象に放課後等デイサービスを受け入れています。重度の障がいを持つお子さんも受け入れており、家族のように一人ひとりの成長を見守り、毎日を楽しく、豊かに暮らしてほしいという思いで取り組んでいると、川上さんは笑顔でお話してくださいました。